資料３-７

託送供給等約款の認可申請について

２０２３年１月１１日

中国電力ネットワーク株式会社

中国電力ネットワーク株式会社

Copyright© Chugoku Electric Power Transmission & Distribution Co.、Inc. All Right Reserved.

託送供給等約款の認可申請の概要について

- 当社は、昨年12月27日、本年４月から実施する新たな託送供給等約款（以下、「託送約款」）を設定するため、経済産業大臣に対し、認可申請を行いました。
- 新たな託送約款においては、事業計画に掲げた「安定供給」や「再エネ導入拡大」を通じた地域社会の発展の実現に向け、それに資する託送料金の設定や料金メニューの見直しを行うとともに、料金以外の供給条件について、必要となる変更を取り込むこととしています。

＜ 認可申請の主な内容 ＞

1	新たな託送料金の設定	３～23ページ
2	料金メニューの見直し	24～30ページ
3	料金以外の供給条件の変更	31～32ページ

【参考】当社が事業計画に掲げた目標計画

- 事業計画を確実に実施することを通じ、第一規制期間において達成すべき目標を設定しました。
- 「安定供給」、「経済効率性」、「環境への適合」の３つの視点をバランスよく目標に取り入れることにより、地域社会の発展に貢献してまいります。



１．新たな託送料金の設定

新たな託送料金の設定について

- 新たな託送料金は、昨年12月23日に経済産業大臣の承認を受けた収入の見通しにもとづき設定しています。
- 収入の見通しは、最大限の効率化を反映したものの、高経年化対策の強化に加え、カーボンニュートラル社会の実現やレジリエンス強化などの送配電設備の次世代化を進めていくために必要となる費用を織り込んだ結果、これまでよりも増加することとなりました。
- そのため、いずれの託送料金単価も値上げとはなりますが、**利用者の皆さまのご負担への影響にも留意の上、カーボンニュートラル社会の実現に向けた再生可能エネルギー**（以下、「再エネ」）**有効活用のためのデマンドレスポンスの拡大や将来的な電化の推進といった社会的な要請に応えられるよう、基本料金・電力量料金を設定**しています。
- 利用者の皆さまにはご負担をお願いすることになりますが、電力の安定供給と地域社会の発展のため、ご理解いただけるよう丁寧な説明に努めてまいります。

各電圧における主な料金単価

【 標準接続送電サービス（税込）】

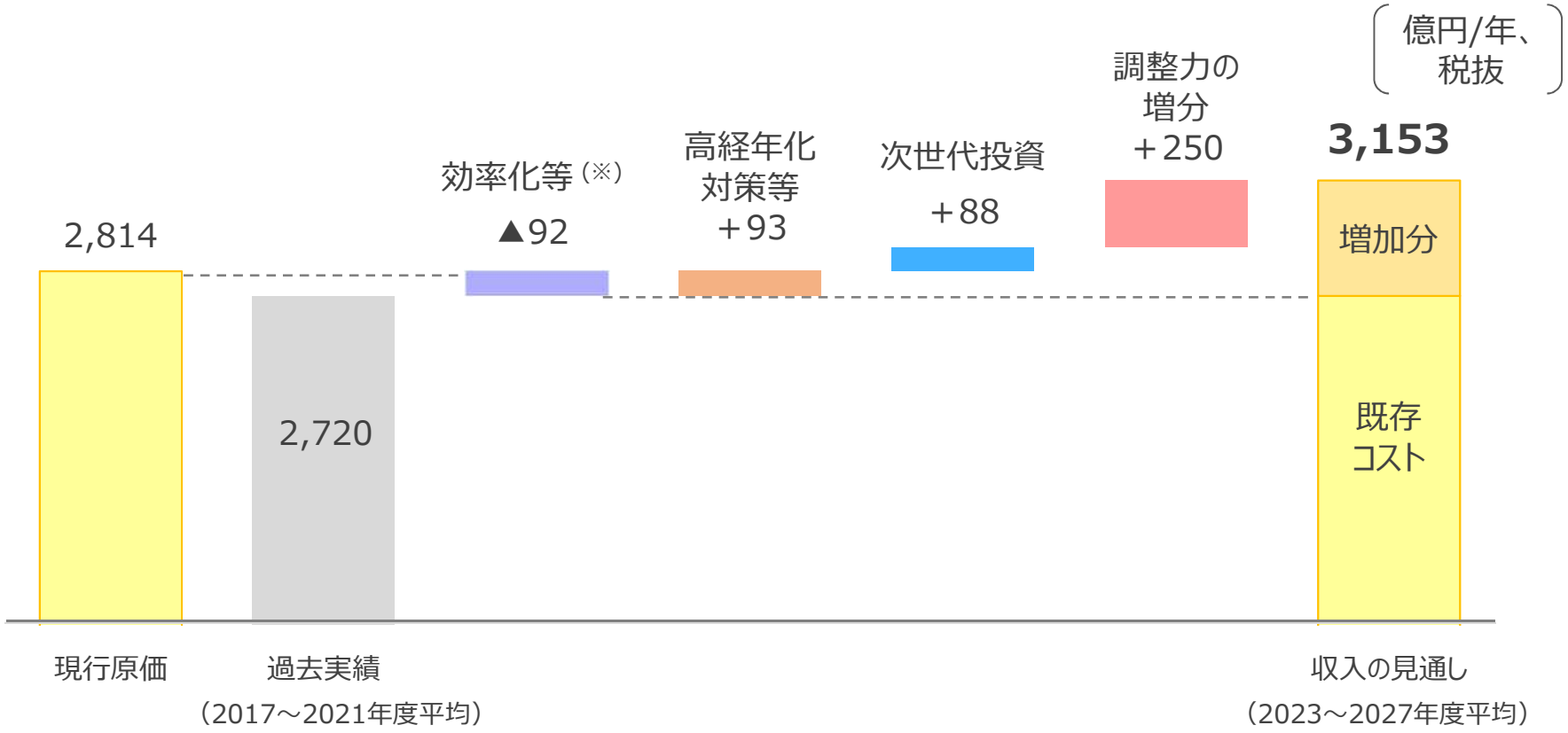
				現行単価 (①)(※2)	改定単価 (②)	差 (②－①)
低 圧 (電灯)	基本料金(※1) (実量)	6 kWまで	円/口	132.00	**326.70**	+194.70
		6 kW超	円/kW	44.00	**108.90**	+64.90
	電力量料金		円/kWh	8.79	**9.49**	+0.70
高 圧	基本料金		円/kW	517.00	**658.90**	+141.90
	電力量料金		円/kWh	2.61	**2.86**	+0.25
特 高	基本料金		円/kW	341.00	**383.90**	+ 42.90
	電力量料金		円/kWh	0.95	**1.02**	+0.07

※１：電灯の基本料金は、契約電力６kWまでは１口あたりの額を一律で設定（ブロック料金）。

※２：現行の電力量料金単価には、離島ユニバーサルサービス調整単価0.02円/kWh（2022年３～５月の平均燃料価格をもとに算定）を含む。

【参考】当社の収入の見通しの全体概要①

- 高経年化対策の強化、次世代ネットワークの構築に向けた施策、再エネ導入拡大に伴う需給調整に必要な調整力の確実な確保など、様々な社会的要請に応えるために必要な費用を織り込んだ結果、収入の見通しは3,153億円/年となりました。
- なお、既存コストについては業務全般にわたる効率化を最大限織り込むとともに、効率化係数を反映することで、現行原価から92億円/年、減少する見込みです。



※ 効率化計画（80億円）および業界全体の創意工夫や技術革新に向けた取り組みを促す目的で設定された既存コストに係る効率化係数反映による削減額（12億円）

【参考】当社の収入の見通しの全体概要②

料金対応需要

（億kWh/年）

第一規制期間（①）	原価算定期間（※1）（②）	差（①－②）
570	602	▲31

※１：現行料金の原価算定期間（2016~2018年度）における想定需要電力量。

収入の見通し

（億円/年、税抜）

収入の見通し（①）	現行収入（※2）（②）	差（①－②）
3,153	2,718	435

※２：現行の料金単価が継続した場合の収入の想定値（離島ユニバーサル調整額を含む）。

１kWhあたり平均単価

（円/kWh、税抜）

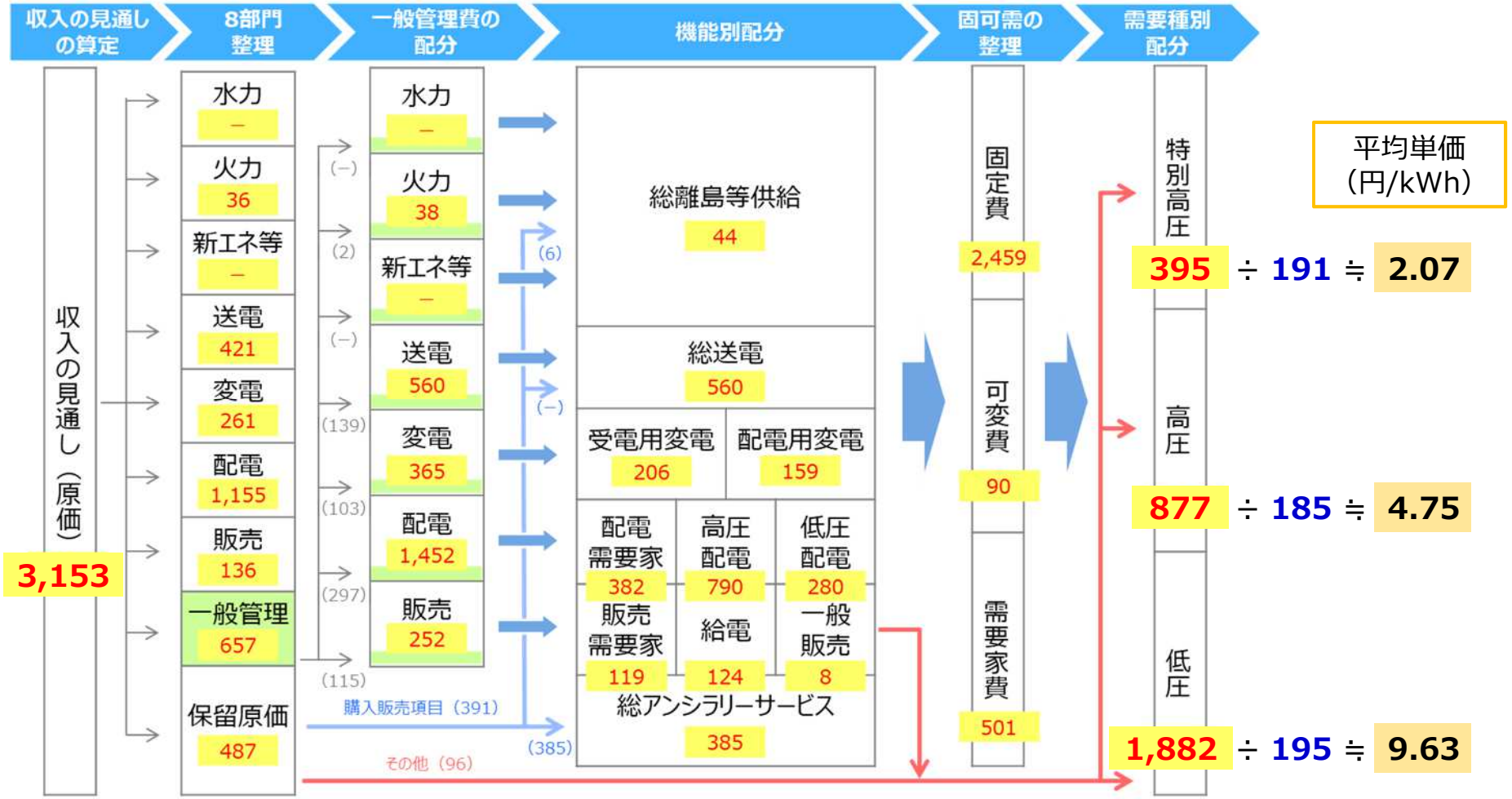
	単価の見通し（※3）（①）	現行収入単価（②）	差（①－②）	改定率（※4）
特別高圧	2.07	1.85	+0.22	+11.8%
高　圧	4.75	4.04	+0.71	+17.5%
低　圧	9.63	8.29	+1.34	+16.2%
全　系	5.53	4.76	+0.77	+16.0%

※３：収入の見通しを第一規制期間の料金対応需要（電力量）で除して算定した平均単価。

※４：収入の見通しおよび現行収入の額により算定。

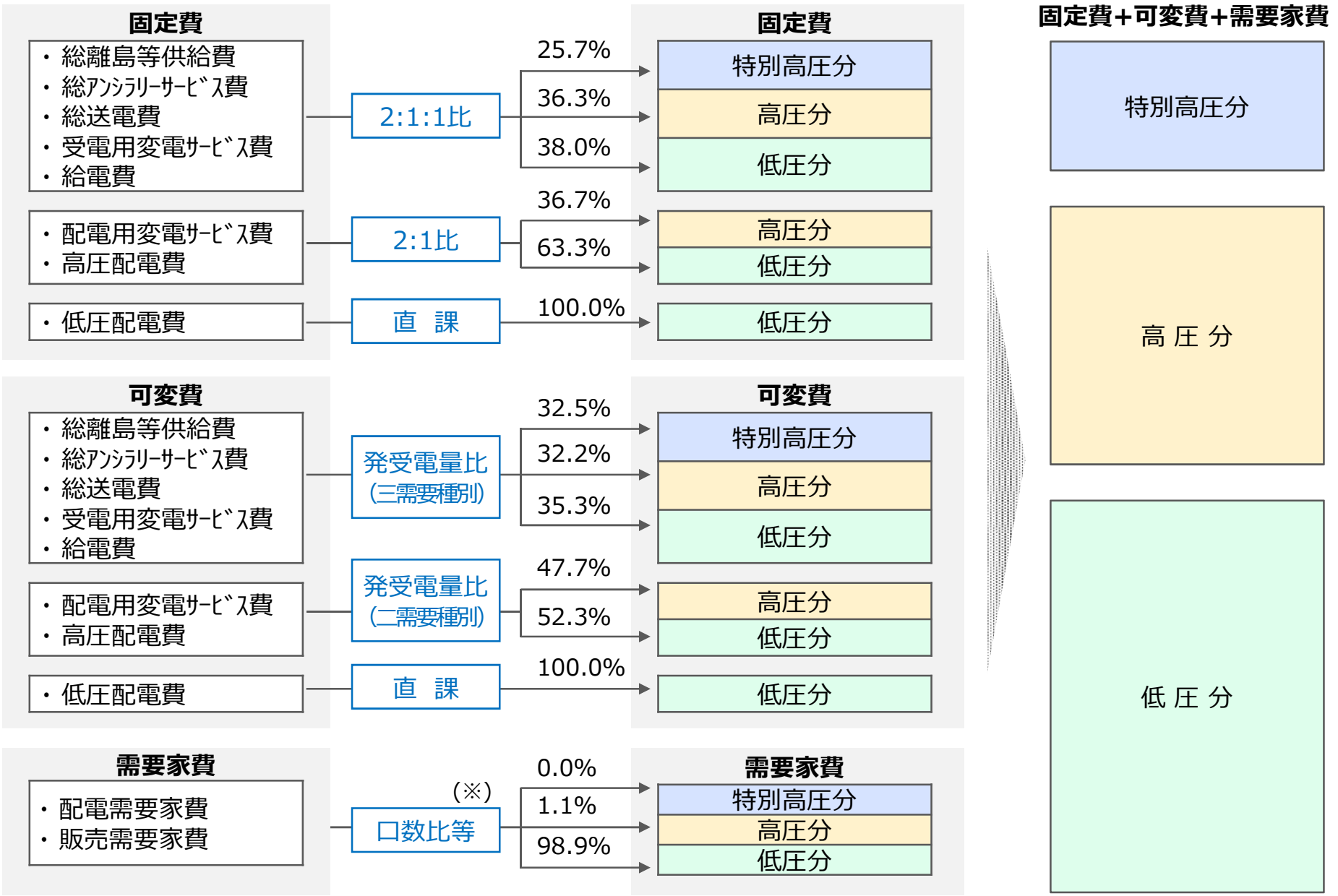
【参考】収入の見通しの額の三需要種別への配分（費用配賦）

■ 託送料金の設定にあたり、まず収入の見通しの額（原価）を一般送配電事業託送供給等約款料金算定規則（以下、「算定規則」）で定められた算定ルールに従って整理の上、特別高圧・高圧・低圧の三需要種別に配分しました。



※ 上記フロー図中の赤色の数値は原価の額（億円/年）、青字の数値は料金対応需要の量（億kWh/年）。
なお、端数処理の関係上、合計額と内訳等が一致しない場合がある。

【参考】需要種別配分のイメージ



※ 引込線・計器等に係る需要家費の一部については、事業者設定基準を定めた上で、算定規則に定められた口数比以外の比率により配分を実施。

【参考】2:1:1比の算定結果

＜ 2:1:1比の算定諸元 ＞

	最大電力	発受電量比（三需要種別）	尖頭時責任電力	
			夏 期	冬 期
	千kW	百万kWh	千kW	千kW
特別高圧需要	2,636.1	19,564.1	2,802.5	2,580.7
高 圧 需 要	4,195.1	19,389.4	4,532.4	4,195.1
低 圧 需 要	4,905.4	21,254.8	3,191.9	3,806.2
計	11,736.6	60,208.3	10,526.8	10,582.0

※ 第一規制期間の５ヶ年平均値。

＜ 2:1:1比の算定 ＞

	最大電力比（2.0）	発受電量比（1.0）	尖頭時責任電力比		2:1:1比
			夏期（0.5）	冬期（0.5）	
特別高圧需要	22.461%	32.494%	26.623%	24.388%	25.730%
高 圧 需 要	35.744%	32.204%	43.056%	39.644%	36.261%
低 圧 需 要	41.795%	35.302%	30.321%	35.968%	38.009%
計	100.000%	100.000%	100.000%	100.000%	100.000%

－ 算定例（低圧需要分） －

低圧需要の2:1:1比

＝ （ 最大電力比 × 2.0 ＋ 発受電量比 × 1.0 ＋ 夏期尖頭時責任電力比 × 0.5 ＋ 冬期尖頭時責任電力比 × 0.5 ）／4.0

＝ （ 41.795% × 2.0 ＋ 35.302 % × 1.0 ＋ 30.321% × 0.5 ＋ 35.968% × 0.5 ）／4.0

＝ 38.009%

【参考】2:1比の算定結果

＜ 2:1比の算定諸元 ＞

	延契約電力	発受電量比 （二需要種別）
	千kW	百万kWh
高 圧 需 要	82,872.1	19,389.4
低 圧 需 要	182,742.3	21,254.8
計	265,614.4	40,644.2

※ 第一規制期間の５ヶ年平均値。

＜ 2:1比の算定 ＞

	延契約電力比 （2.0）	発受電量比 （1.0）	2:1比
高 圧 需 要	31.200%	47.705%	36.702%
低 圧 需 要	68.800%	52.295%	63.298%
計	100.000%	100.000%	100.000%

－ 算定例（低圧需要分） －

低圧需要の2:1比

＝ （ 延契約電力比 × 2.0 ＋ 発受電量比 × 1.0 ）／ 3.0

＝ （ 68.800% × 2.0 ＋ 52.295% × 1.0 ）／ 3.0

＝ 63.298%

【参考】料金単価の算定等（レートメーク）①

■ 各料金メニューおよびその料金単価は、算定規則第25条の規定を踏まえ、以下の考え方により設定しています（メニューのラインナップは現行から変更ありません）。

収入の見通しとの関係	• 規制期間中の料金収入が収入の見通しを上回らないよう設定。
料金の安定性	• 規制期間において5年一律の料金単価を設定。
需要種別ごとの料金	• 費用配賦により各需要種別に配分された原価の額をもとに設定。
料金制	• 二部料金(※1)を基本に、小規模需要向けの定額制料金も設定。 • また、低利用率の自己託送向けの完全従量料金(※2)を設定。 ※１：基本料金と電力量料金からなる料金。※２：電力量料金のみからなる料金。
選択メニュー	• 送配電設備の効率的な利用を促す時間帯別料金を設定。

＜ 料金メニューのラインナップ ＞

	接続送電サービス		臨時接続送電サービス		予備送電サービス	
特別高圧	標準／時間帯別／完全従量		臨時		A	B
高　圧	標準／時間帯別／完全従量		臨時		A	B
低　圧 （上段：動力 下段：電灯）	標準／時間帯別／完全従量		臨時	定額		
	標準／時間帯別／完全従量	定額	臨時	定額		

【参考】料金単価の算定等（レートメーク）②

■ 託送料金単価は、2016年の料金改定の際の手法を基本に算定しました。

① 原価(※1)から基本料金での回収額を先取りし、規制期間における契約電力の想定値で除して基本料金単価を算定。

② 基本料金での回収額を除いた原価(※2)を規制期間における使用電力量の想定値で除して電力量料金単価を算定。



※１：原価には、近接性評価割引の実施に要する額を含む。

※２：低圧（動力・電灯）については、定額制料金回収分も原価から除く。

※３：定額料金単価の算定における「平均単価」は動力・電灯ごとに原価を使用電力量で除した値。
また、「電力量」は、電源開発促進税法取扱通達に規定された時間数等に基づき算定。

【参考】利用者のご負担①（モデルケースによる試算）

■ 値上げによる影響額としては、例えば、一般的なご家庭（電灯需要で、１ヶ月間の使用電力量を260kWhと仮定）の場合、月々400円程度の増（値上げ率としては低圧全体の平均的な改定率と同程度）と見込んでいます。

			低圧（電灯）	高　圧	特別高圧
前 提	契約電力	kW	（６kW以下）	100	3,000
	力　率	（%）	－	100%	100%
	月間使用電力量	kWh	260	22,000	840,000
託 送 料 金 (※1) (※2) (※3)	現　行（①）	円	2,417	101,365	1,667,550
	改定後（②）	〃	2,794	118,927	1,835,745
	差（②－①）	〃	**+377**	**+17,562**	**+168,195**
	ご負担の増加率	（%）	**+16%**	**+17%**	**+10%**

※１：標準的な託送料金メニュー（標準接続送電サービス）を適用する場合の金額（税込）。
（また、低圧（電灯）については、実量契約の基本料金を適用する場合）

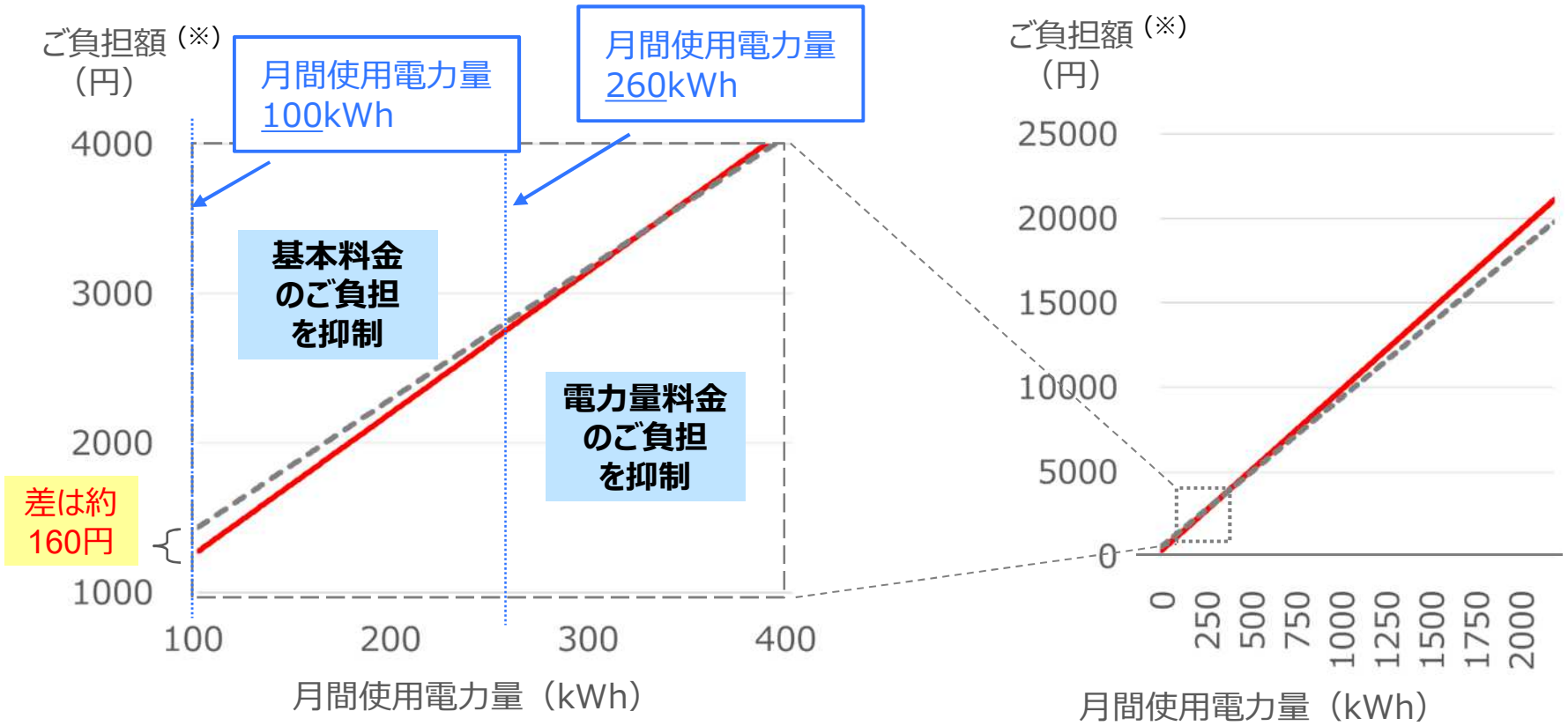
※２：現行の電力量料金には、離島ユニバーサルサービス調整額0.02円/kWh（2022年３～５月の平均燃料価格をもとに算定）を含む。

※３：高圧・特別高圧のモデルでは、力率割引を考慮。

【参考】利用者のご負担②（料金設定にあたっての検討）

■ 電気の使われ方によって利用者のご負担に大きな変動が生じないよう、基本料金と電力量料金のご負担のバランスを考慮の上、それぞれの料金単価を設定しています。

＜ 例：電灯の場合 ＞



：今回申請した料金でのご負担額
：電力量料金据え置きの場合のご負担額

※ 標準的な託送料金メニュー（標準接続送電サービスの実量契約）を適用する場合の月あたりの金額（税込）。

【参考】託送料金単価一覧①

【 接続送電サービス（税込）】

					現行単価（①）(※)	改定単価（②）	差（②－①）
低圧（電灯）	定額	電灯料金	10Wまで	円/灯	34.95	**40.39**	+5.44
			20Wまで	〃	69.91	**80.80**	+10.89
			40Wまで	〃	139.80	**161.58**	+21.78
			60Wまで	〃	209.69	**242.37**	+32.68
			100Wまで	〃	349.50	**403.95**	+54.45
			100W超過50Wまでごとに	〃	174.74	**201.98**	+27.24
		小型機器料金	50VAまで	円/機器	104.40	**120.66**	+16.26
			100VAまで	〃	208.77	**241.31**	+32.54
			100VA超過50VAまでごとに	〃	104.40	**120.66**	+16.26

※ 現行単価には、離島ユニバーサルサービス調整単価0.02円/kWh（2022年３～５月の平均燃料価格をもとに算定）に相当する単価を含む。

【参考】託送料金単価一覧②

【 接続送電サービス（税込）】

						現行単価（①）(※)	改定単価（②）	差（②－①）
低圧（電灯）	標準	基本料金	実量	6kWまで	円/口	132.00	**326.70**	+194.70
				6kW超	円/kW	44.00	**108.90**	+64.90
			主開閉器	6kVAまで	円/口	104.50	**268.40**	+163.90
				6kVA超	円/kVA	33.00	**89.10**	+56.10
		電力量料金			円/kWh	8.79	**9.49**	+0.70
	時間帯別	基本料金	実量	6kWまで	円/口	132.00	**326.70**	+194.70
				6kW超	円/kW	44.00	**108.90**	+64.90
			主開閉器	6kVAまで	円/口	104.50	**268.40**	+163.90
				6kVA超	円/kVA	33.00	**89.10**	+56.10
		電力量料金		昼間時間	円/kWh	9.54	**9.94**	+0.40
				夜間時間	〃	7.71	**9.03**	+1.32
	従量				〃	10.96	**14.85**	+3.89

※ 現行の電力量料金単価には、離島ユニバーサルサービス調整単価0.02円/kWh（2022年３～５月の平均燃料価格をもとに算定）を含む。

【参考】託送料金単価一覧③

【 接続送電サービス（税込）】

					現行単価 (①)(※)	改定単価 (②)	差 (②－①)
低圧（動力）	標準	基本料金	実　量	円/kW	462.00	**568.70**	+106.70
			主開閉器	〃	374.00	**466.40**	+92.40
		電力量料金		円/kWh	5.97	**6.57**	+0.60
	時間帯別	基本料金	実　量	円/kW	462.00	**568.70**	+106.70
			主開閉器	〃	374.00	**466.40**	+92.40
		電力量料金	昼間時間	円/kWh	6.47	**6.88**	+0.41
			夜間時間	〃	5.26	**6.27**	+1.01
	従　量			〃	13.55	**15.90**	+2.35

※ 現行の電力量料金単価には、離島ユニバーサルサービス調整単価0.02円/kWh（2022年３～５月の平均燃料価格をもとに算定）を含む。

【参考】託送料金単価一覧④

【 接続送電サービス（税込）】

					現行単価 (①)(※)	改定単価 (②)	差 (②－①)
高圧	標準	基本料金		円/kW	517.00	**658.90**	+141.90
		電力量料金		円/kWh	2.61	**2.86**	+0.25
	時間帯別	基本料金		円/kW	517.00	**658.90**	+141.90
		電力量料金	昼間時間	円/kWh	2.93	**3.03**	+0.10
			夜間時間	〃	2.20	**2.70**	+0.50
	従　量			〃	11.08	**13.66**	+2.58
	ピークシフト割引			円/kW	438.90	**559.90**	+121.00

※ 現行の電力量料金単価には、離島ユニバーサルサービス調整単価0.02円/kWh（2022年３～５月の平均燃料価格をもとに算定）を含む。

【参考】託送料金単価一覧⑤

【 接続送電サービス（税込）】

					現行単価 (①)(※)	改定単価 (②)	差 (②－①)
特高	標準	基本料金		円/kW	341.00	**383.90**	+42.90
		電力量料金		円/kWh	0.95	**1.02**	+0.07
	時間帯別	基本料金		円/kW	341.00	**383.90**	+42.90
		電力量料金	昼間時間	円/kWh	1.01	**1.07**	+0.06
			夜間時間	〃	0.85	**0.98**	+0.13
	従　量			〃	6.53	**7.32**	+0.79
	ピークシフト割引			円/kW	289.30	**326.70**	+37.40

※ 現行の電力量料金単価には、離島ユニバーサルサービス調整単価0.02円/kWh（2022年３～５月の平均燃料価格をもとに算定）を含む。

【参考】託送料金単価一覧⑥

【 臨時接続送電サービス（税込）】

				現行単価 (①)(※)	改定単価 (②)	差 (②－①)
低圧（電灯）	定額	50VAまで	円/日	3.09	**3.59**	+0.50
		50VA超過100VAまで	〃	6.20	**7.16**	+0.96
		100VA超過500VAまでの場合 100VAまでごとに	〃	6.20	**7.16**	+0.96
		500VA超過1kVAまで	〃	61.96	**71.62**	+9.66
		1kVA超過3kVAまでの場合 1kVAまでごとに	〃	61.96	**71.62**	+9.66
	従量	基本料金	円/口・円/kW	標準接続送電サービスの基本料金単価（主開閉器）の10%割増		－
		電力量料金	円/kWh	9.67	**10.44**	+0.77
（動力）	定額		円/kW・日	88.61	**102.82**	+14.21
	従量	基本料金	円/kW	標準接続送電サービスの基本料金単価（主開閉器）の20%割増		－
		電力量料金	円/kWh	7.16	**7.88**	+0.72

※ 現行の電力量料金単価には、離島ユニバーサルサービス調整単価0.02円/kWh（2022年３～５月の平均燃料価格をもとに算定）を含む。　（定額料金の現行単価にもこれに相当する単価を含む）

【参考】託送料金単価一覧⑦

【 臨時接続送電サービス（税込）】

			現行単価 (①)(※)	改定単価 (②)	差 (②－①)
高圧	基本料金	円/kW	標準接続送電サービスの基本料金単価の20%割増		－
	電力量料金	円/kWh	3.12	**3.43**	+0.31
特高	基本料金	円/kW	標準接続送電サービスの基本料金単価の20%割増		－
	電力量料金	円/kWh	1.13	**1.23**	+0.10

※ 現行の電力量料金単価には、離島ユニバーサルサービス調整単価0.02円/kW（2022年３～５月の平均燃料価格をもとに算定）を含む。

【 予備送電サービス（税込）】

			現行単価 (①)	改定単価 (②)	差 (②－①)
高圧	予備送電サービスA	円/kW	77.00	**111.10**	+34.10
	予備送電サービスB	〃	148.50	**167.20**	+18.70
特高	予備送電サービスA	〃	61.60	**70.40**	+8.80
	予備送電サービスB	〃	90.20	**94.60**	+4.40

【参考】託送料金単価一覧⑧

【 近接性評価割引（税込）】

		現行単価（①）	改定単価（②）	差（②－①）
受電電圧が標準電圧6,000V以下の場合	円/kWh	0.53	**0.53**	±0.00
受電電圧が標準電圧6,000Vをこえ100,000V以下の場合	〃	0.48	**0.48**	±0.00
受電電圧が標準電圧100,000Vをこえる場合	〃	0.24	**0.24**	±0.00

【 離島ユニバーサルサービス調整における離島基準単価（※）（税込）】

		現行単価（①）	改定単価（②）	差（②－①）
全需要種別共通	円/kWh	0.001	**0.001**	±0.000

※ 平均燃料価格が1,000円/kl変動した場合に相当する単価。

２．料金メニューの見直し

再エネの有効活用に向けた料金メニューの見直しについて

- 昨年から当社エリアでも再エネの出力抑制が始まったところ、この**低減に向けた取り組みとして、ピークシフト割引**（※1）**および自家発補給電力に係る特別措置**（※2）**の適用時間帯を拡大する見直しを行い、当社エリアで出力抑制が必要となりやすい時間帯（４月の土曜日の昼間等）を新たに追加**することとしました。
- 規制期間中においても、再エネ拡大の動向等を踏まえつつ、より効果的な適用時間帯となるよう見直しの検討を行うなど、抑制低減に向けた取り組みを継続的に進めてまいります。

※１：昼間時間から夜間時間への負荷移行を行った結果により、１年を通じての最大需要電力が夜間時間に発生する場合で、当社との協議がととのったときに適用する割引。

※２：当社があらかじめ指定する時間帯（当社が、出力抑制の可能性または出力抑制の要請を公表した場合における当該抑制の時間帯）に、自家発補給に係る契約を締結している供給地点で自家発補給電力を使用する場合に、当該地点に係る自家発補給電力の基本料金を半額とする措置。

見直し後の適用時間帯について

＜ピークシフト割引＞

時間帯	軽負荷月（4,5,10,11月）			その他月（左記以外）			＋	再エネ(※)出力抑制時
	平日	土曜	日祝等	平日	土曜	日祝等		
8-16時	－	○	○	－	－	○	＋	○
16-22時	－	－		－	－			
22-8時	○							

＜自家発補給電力に係る特別措置＞

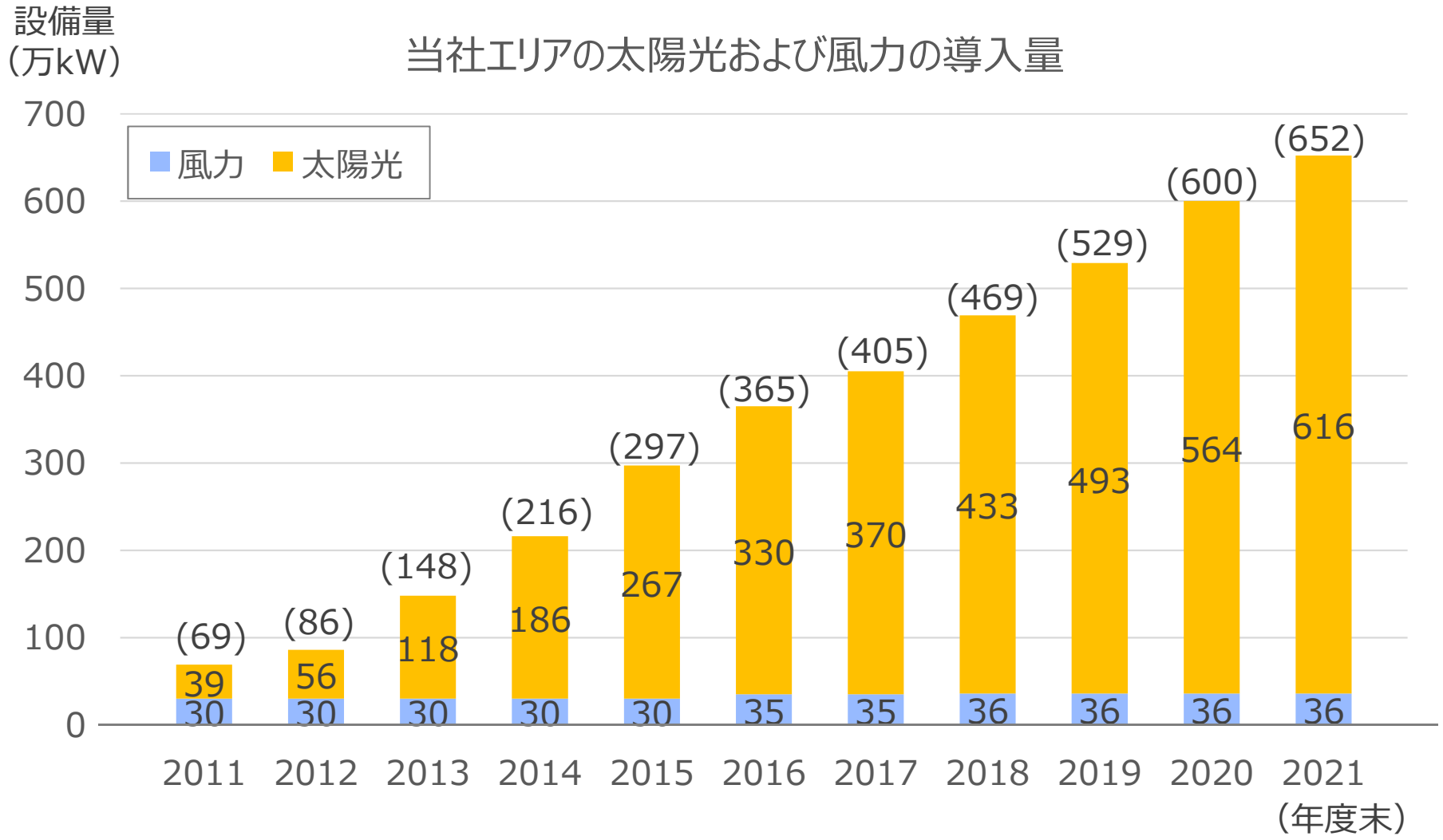
時間帯	軽負荷月（4,5,10,11月）			その他月（左記以外）			＋	再エネ(※)出力抑制時
	平日	土曜	日祝等	平日	土曜	日祝等		
8-16時	－	○	○	－	－	－	＋	○

○：今回から追加　○：従来から適用（見直し後も適用）　－：従来から適用外

※ あらかじめ固定的に設定した日時ではなく、当社が、出力抑制の可能性または出力抑制の要請を公表した場合における当該抑制の日時（現行の自家発補給電力に係る特別措置における取り扱い）。

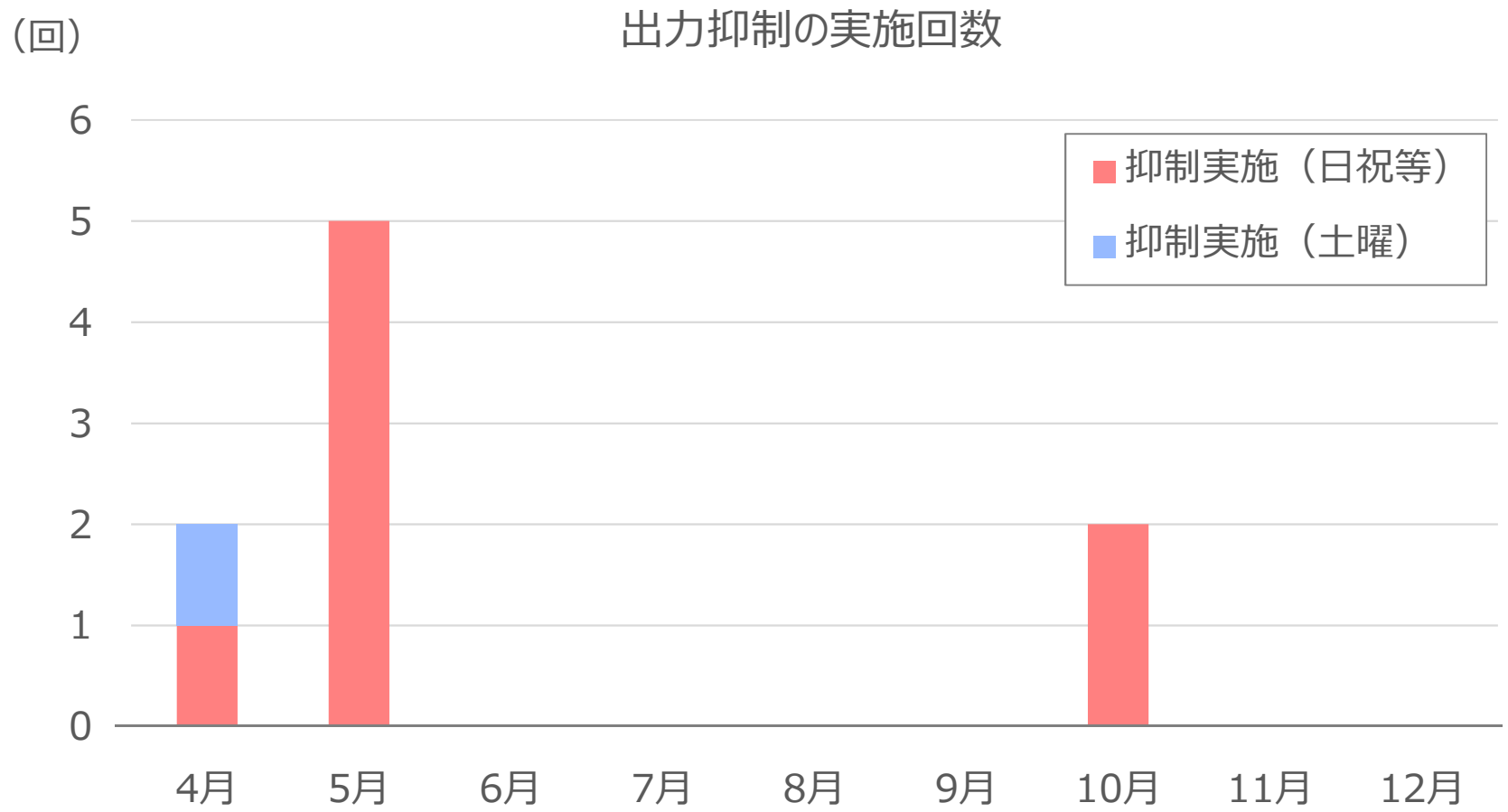
【参考】当社エリアにおける再エネ導入状況

■ 2011年度から2021年度にかけて、太陽光は39万kWから616万kWに、風力は30万kWから36万kWに増加しています。



【参考】当社エリアにおける2022年の出力抑制の実績

■ ４月以降、計９回の出力抑制を実施しました。



※ ゴールデンウィーク中の５月２日（月）の抑制実績は、「日祝等」のカテゴリーに計上。

【参考】現行のピークシフト割引の制度概要

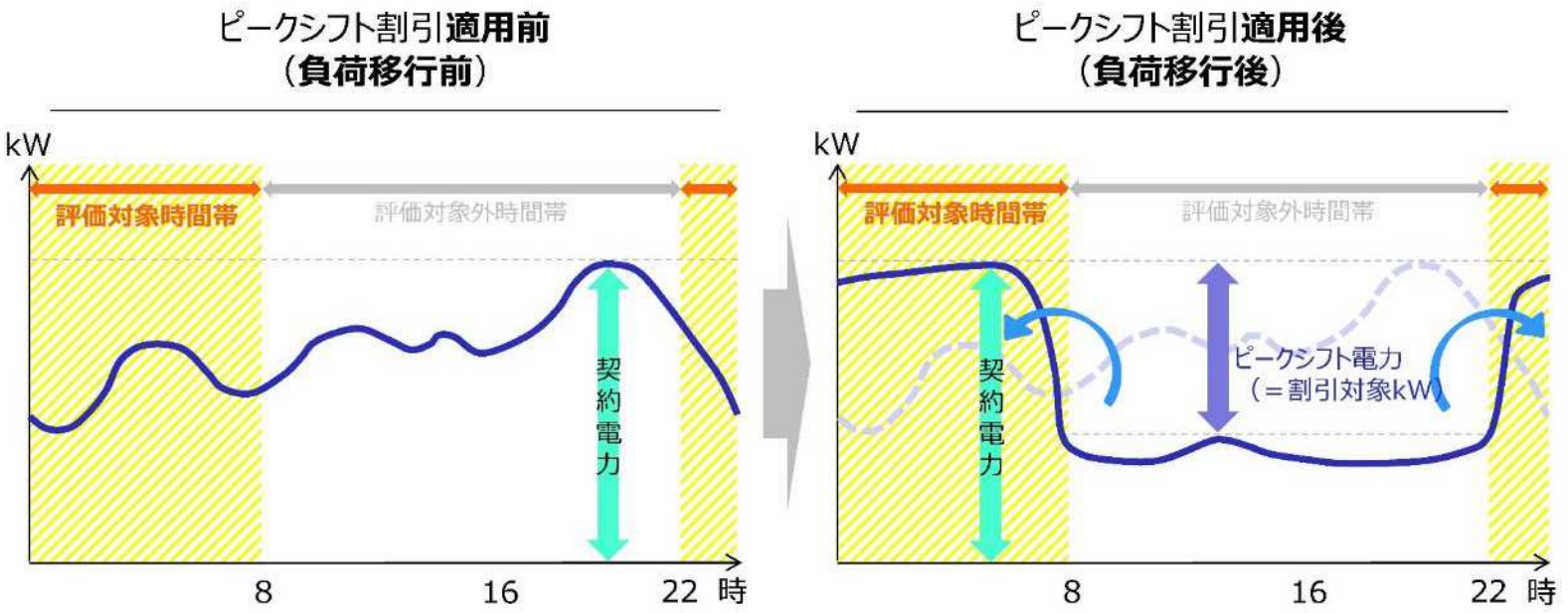
4

（参考）現行のピークシフト割引の制度概要

■ 負荷移行により1年を通じての最大需要電力等が夜間時間に発生する場合の料金について、夜間時間において昼間時間での最大需要電力等を上回る増分電力のうち、負荷移行によって昼間時間から夜間時間に移行した電力（ピークシフト電力）に応じて基本料金を割引。

※現行の託送約款では、高圧・特高で供給する需要者に適用

＜負荷移行のイメージ＞



送配電網協議会

©Transmission & Distribution Grid Council

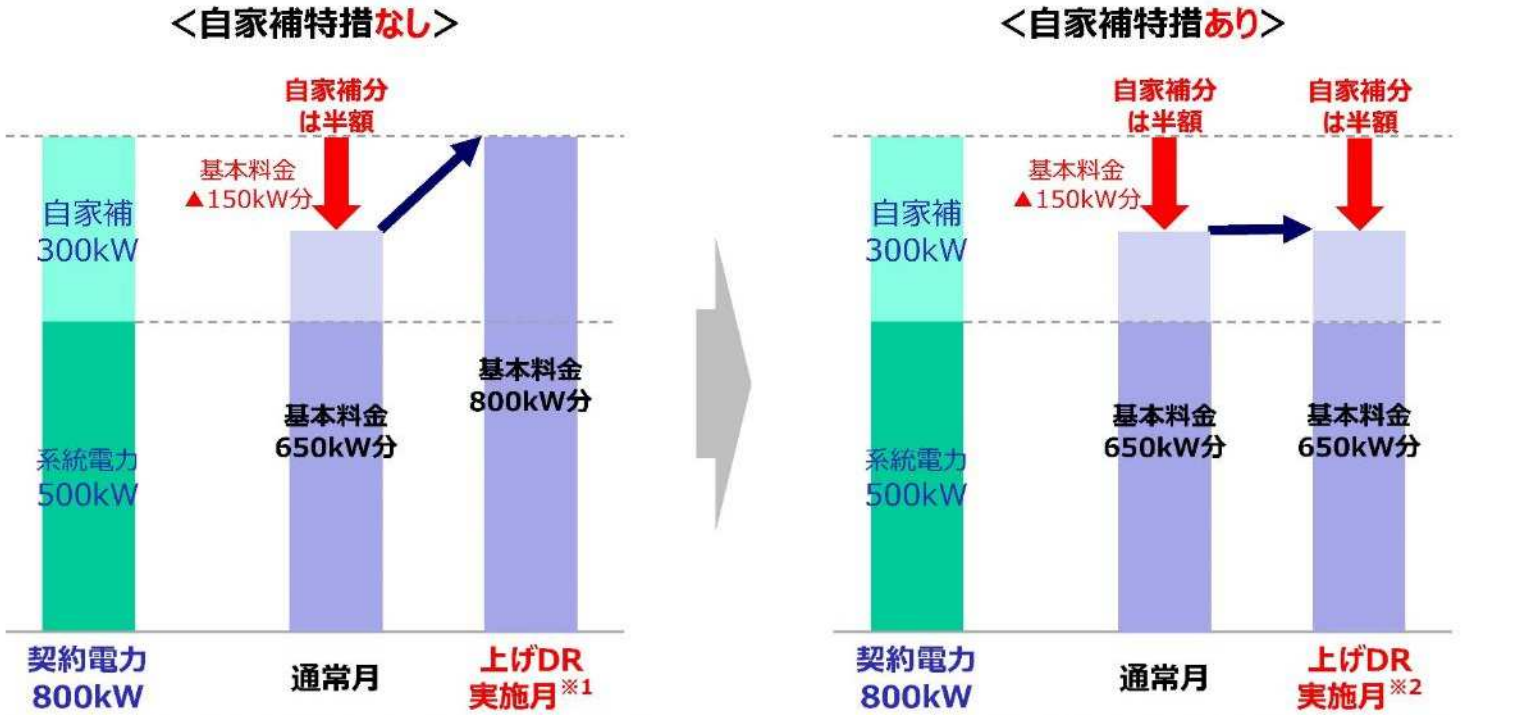
2022.10.20　第42回系統ワーキンググループ 資料５より抜粋

【参考】現行の自家発補給電力に係る特別措置の制度概要

5

（参考）現行の自家補特措の制度概要

■ 一般送配電事業者が、再エネ発電設備の出力抑制の可能性または出力抑制の要請を公表した対象日時に限り、上げDRのために需要者の発電設備を停止若しくは出力を抑制して系統からの電力の吸い込みを増やす場合であっても、自家発補給電力を使用していないものとして自家補分の基本料金は半額とする。



※１ 契約電力は、年間の最大需要電力に基づき決定されることから、一度増加して以降11か月間は基本料金が増加してしまう

※２ 出力抑制の可能性または出力抑制の要請の公表に基づく上げDR実施時に基本料金が増加しないよう託送約款に手当て

©Transmission & Distribution Grid Council

2022.10.20　第42回系統ワーキンググループ 資料５より抜粋

３．料金以外の供給条件の変更

料金以外の供給条件の変更

■ 国の審議会における整理等を踏まえ、再エネの有効活用などに資する供給条件の見直しを行います。

【主な見直し内容】

項　目	概　要
N-1電制の本格適用に伴う費用精算	• N-1電制の本格適用に向け、これに係る費用（電制装置に係る初期費用や電制実施時の代替電源調達費用・再起動費用）について、当社と発電契約者・発電者との間で精算する旨を規定。
グリッドコード（系統連系技術要件）の見直し	• 電力広域的運営推進機関の検討会（グリッドコード検討会）で要件化された太陽光・風力発電設備のオンライン化、需給変動や周波数変動への対応を新規接続の要件として求めることなどを規定。
インバランス料金の未収に備えた保証金の受領	• インバランス料金の未収リスクがある契約者に対して保証金を求める旨を規定。
損失率の見直し	• 損失率を至近の過去3年分の実績平均に変更。